

入札監理小委員会における審議結果報告 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構「システム技術支援業務等」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構のシステム技術支援業務等について、入札監理小委員会において当該民間競争入札の実施要項（案）を審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1. 業務概要

本業務は、JAXA が研究開発業務における安全確保及びミッション達成のために行う活動に対して、①安全要求等の作成・維持及び再突入リスク評価、②安全・ミッション保証技術研修、及び③安全・ミッション保証に係る ESA/NASA/JAXA 三極会合に関する技術支援を行うものである。

第 1 期では一者応札となり、競争性の確保に課題が見られた。その要因として上げられたのが、業務の専門性であった。

このため、第 2 期は、業務を上記①、②、③にわけて契約することにより、ある分野に特化した事業者も参入可能としたが、全体としては競争性の確保について課題があることから「継続」となった

第 3 期は引き続き、①、②、③に分けて実施することとし、それぞれの実施要項等について競争性の確保等の課題に関する検討結果を反映させている。なお、第 3 期の業務実施期間は、令和 5 年 4 月～令和 8 年 3 月の 3 年間で予定。

2. 事業の評価を踏まえた対応について

【論点 1】：競争性の確保について（事業者の要件について）

【対応：②】

- ・一部講師の外注を可とした。（8 / 4 5、2 1 / 4 5、2 7 / 4 5）
- ・研修の実施方法の変更（オンラインへ）に伴い、オンライン研修の実績があることを追記（2 2 / 4 5）
- ・要件について、宇宙分野以外の分野（鉄道、自動車、産業プラント等）に航空を追加。（8 / 4 5）

【対応：③】

- ・要件について、宇宙分野以外の分野（鉄道、自動車、産業プラント等）に航空を追加。（8 / 2 9、2 2 / 2 9）
- ・「宇宙航空または類似の業務における動向、課題を認識できる能力を有すること」を、「安全性、信頼性、品質保証等に係る動向、課題を理解する能力を有すること」とし、宇宙分野以外の分野からの参入を更に容易とした。（8 / 2 9、2 2 / 2 9、2 4 / 2 9）

【論点 2】：専門性が高いことについて（①）

要件の見直し

第 2 期の評価結果や昨年度の業務成果等を精査した結果、所定の品質を確保するためには相当の専門能力が必要であり、宇宙分野以外の事業者が入札する場合には、宇宙分野の専門家を雇用または外注することが必須であると判断し、現実に即して、「宇宙分野以外の一般工業における安全設計に係る業務」を要件から削除した。（8 / 2 9、2 1 / 2 9）

【その他】

○業務の見直し等

①について

- ・再突入溶融解析ツールに関する業務の削除（再突入溶融解析ツールの更新業者が実施）（8～9/28、20/28）
- ・ロケットペイロード安全要求の海外との比較表の維持の削除（5年度は実施しないため）（20/28）

②について

- ・JAXAが実施する講義について明示（21/45、34/45）
- ・教材について、JAXAから提示するものの利用可能を明示（21/45、27/45）
- ・研修の実施方法の変更（オンラインへ）に伴う、業務内容の変更（研修会場の手配等は削除、オンライン開催に伴う準備を追加）（21/45、25/45、27/45、30～31/45、39/45）

③について

- ・会議への参加方法をリモート参加とした（20～21/29）
- ・NASA/ESAとの調整を日本語・英語双方向で実施することを追加（21/29、23/29）
- ・通訳業務の追加（21/29）
- ・英語の議事録作成作業を追加（21/29）
- ・三極会合結果概要の報告案を日本語/英語双方で作成（21/29）
- ・各業務の内容をより具体的に記載（21/29）
- ・英語による技術調整を能力を追記（8/29、22/29）

○業務の実施場所（①、②、③とも）

その他業務実施上必要な場所として、テレワークを追加（22/28、23/45、23/29）

3. 実施要項（案）の審議結果

実施要項（案）の修正を伴う意見はなかった。質疑応答において、実施に要した人員数について、3つの業務間で重複していない旨確認した。

4. パブリック・コメントの対応について

令和4年9月15日（木）から10月7日（金）まで意見募集を実施した結果、①については15件、②については3件の意見があり、このうち、①について、正確性を期すために語句の補足をするなどの修正を2件行った。

以上